

津波避難デッキ いよいよ完成！



マリンゲート塩釜と本塩釜駅前の商業施設を結ぶ、県内初の「津波避難デッキ」が間もなく完成します。大規模な津波が発生した際に地域の皆さんや観光客の生命を守る一時避難場所としての役割を果たすほか、浦戸地区への物資供給の輸送路としても機能します。

現在、デッキ本体の工事が完了し、各施設との接続工事を行っています。今月下旬にはオープニングセレモニーを行い、一般の方も使用できるようになります。

■津波避難デッキ整備概要

全 長 372m
有効幅員 4.8m
高 さ 5～6.5m



▲波の模様がデザインされた高欄



▲夜間はライトが足元を明るく照らします

復興ニュース

問 復興推進課都市基盤復興係 ☎355-6593

安倍総理大臣が視察に訪れました

(2月20日)

安倍内閣総理大臣が、宮城県下の被災市町の復興状況を視察するため、塩釜水産物仲卸市場を訪れました。活気あふれる場内を見学しながら、商店の方々へ激励し、来場者とふれ合いました。また、場内の新鮮な食材を購入し、海鮮丼を試食されました。



▲来場していた子どもたちとの記念撮影



▲市長から復興状況の説明をしました

問 水産振興課水産係 ☎364-2222、復興推進課総務係 ☎355-6574

興國高等学校から学校図書が寄贈されました

(3月2日)

大阪市天王寺区にある興國(こうこく)高等学校から市内10校に学校図書が寄贈され、興國高校代表生徒から二中代表生徒に目録が渡されました。

平成23年11月に寄贈された計170個の「つながれ！塩釜の未来へ」の文字が入った温湿度計から始まり、教育活動を支援するための寄贈は今年で5回目。

興國高等学校の文化祭などで行っているチャリティー募金により寄贈を続けていただいています。

問 学校教育課学校教育係 ☎365-3216



▲二中の生徒たちは「本に親しみを持って、興國高等学校の皆さまへの感謝の気持ちを込めながら使用していきたい」と話していました



▲平成23年11月に寄贈された温湿度計